

当初予算の主要事業

1. 心地よく住みやすいまちをつくる

25億123万円

- 道路・交通網等の整備…道路橋りょう新設・改良・舗装
- 住宅の整備…〈仮称〉春日野団地建設事業
- 下水道の整備…公共下水道整備、都市下水路整備
- 防災・消防・防犯体制の整備…デジタル防災行政無線整備、住まいの安全・安心リフォーム支援、福井川洪水ハザードマップ作成、津乃峰総合センター建設事業、LED防犯灯整備、自主防災組織育成、消防施設整備、消防救急デジタル無線整備
- 地域情報化の推進…電算機器購入、電子自治体の構築

2. 健やかで笑顔のあるまちをつくる

99億7,554万円

- 地域福祉の推進、保健・医療の充実…社会福祉事業等活動費補助、臨時福祉給付金事業、各種予防接種、母子保健対策、妊婦一般健康診査、妊婦訪問、女性特有のがん検診等各種健康診査、不妊治療費助成、小児慢性特定疾患児日常生活用具給付、自殺予防対策緊急強化、地域医療確立対策補助金
- 高齢者福祉・子育て支援・障がい者福祉の充実…敬老会助成、高齢者住宅改造促進、〈仮称〉岩脇こどもセンター建設事業、児童手当給付、未熟児養育医療費助成、こども医療費助成、放課後児童クラブ運営、病児・病後児保育、子育て世帯臨時特例給付金事業、人工内耳電池費用助成、地域活動支援センター運営事業費補助、障害者地域生活支援、ファミリーサポートセンター運営事業、障がい者基本計画・第4期障がい者福祉計画策定、高齢者福祉計画・第6期介護保険事業計画策定、救急医療情報キット配付

3. 美しくひかり輝くまちをつくる

4億2,432万円

- 環境循環型社会の形成…住宅用太陽光発電システム導入支援、生物多様性の現状調査、合併処理浄化槽設置補助、電気式（乾燥式）生ごみ処理機購入助成、環境総合調査
- 治山・治水の推進…急傾斜地崩壊対策
- 衛生環境行政の充実…災害（震災・水害）廃棄物処理計画改訂
- 公園・緑化の推進…防災公園整備（津乃峰・富岡東部地区）、中心市街地活性化広場公園整備

4. 活力と夢を育むまちをつくる

3億1,053万円

- 農林漁業の振興…地域農業振興事業、有害鳥獣対策、環境保全型農業直接支払交付金事業、森林整備地域活動支援交付金事業、農業用施設整備、経営所得安定対策、人・農地問題解決支援事業、耕作放棄地全体調査、沿岸漁業等振興事業
- 商工業・観光の振興等…AMA地域連携・交流事業、光のまちづくり事業補助、「祭り」の活性化、阿南風景百選、那賀川濁水対策協議会運営事業補助、野球のまち阿南推進協議会補助、地域商品券発行助成、あななんPR事業
- 雇用環境・消費者行政の充実…消費生活センター運営

5. 豊かな心と学びのあるまちをつくる

18億8,040万円

- 生涯学習環境の整備…ふるさと活性21活動補助、公民館耐震診断
- 学校教育の充実…阿南中学校屋内運動場改築、富岡小学校プール改築、中野島小学校校舎増築、外国青年招致、〈仮称〉阿南中央給食センター建設事業、阿南市教育振興計画策定
- 人権の尊重…人権フェスティバル開催
- 男女共同参画社会の推進…女性のための生き方なんでも相談
- 健康増進・体力づくりと生涯スポーツの振興…屋内多目的施設整備、体育施設整備（羽ノ浦スポーツランドほか）、トップアスリート招致事業補助、こども水泳講座開催、こころのプロジェクト「夢の教室」開催
- 豊かな歴史文化の継承と新しい文化の創造等…国史跡「阿波遍路道」看板・誘導サイン設置、郷土史編さん、市民会館ほか自主事業

6. みんなで築くまちをつくる

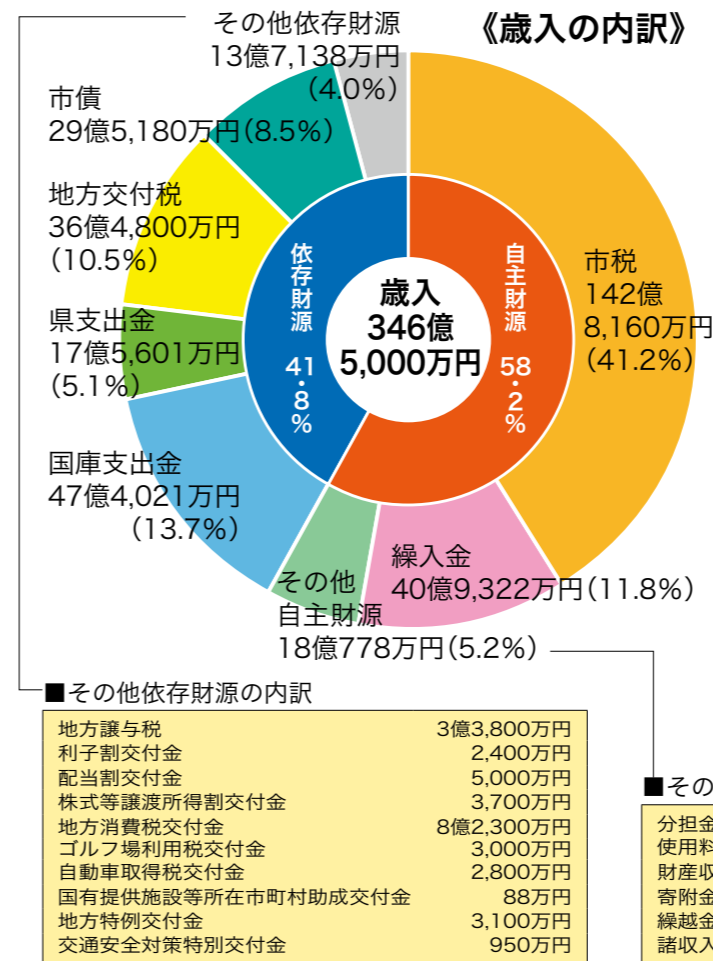
72億4,800万円

- 市民と行政との協働体制の推進…婚活応援事業
- 広域行政の推進…定住自立圏共生ビジョン事業の展開
- 効率的な行政運営…庁舎建設、行政評価制度運用支援業務委託、人事評価制度導入支援業務委託、東京事務所運営
- 健全な財政運営…長期債の償還

平成26年度
一般会計
当初予算

346億5,000万円

阿南市財政事情の公表に関する条例第2条の規定に基づき、平成25年度および平成26年度に係る財政事情を公表します。平成26年4月1日 阿南市長 岩浅嘉仁

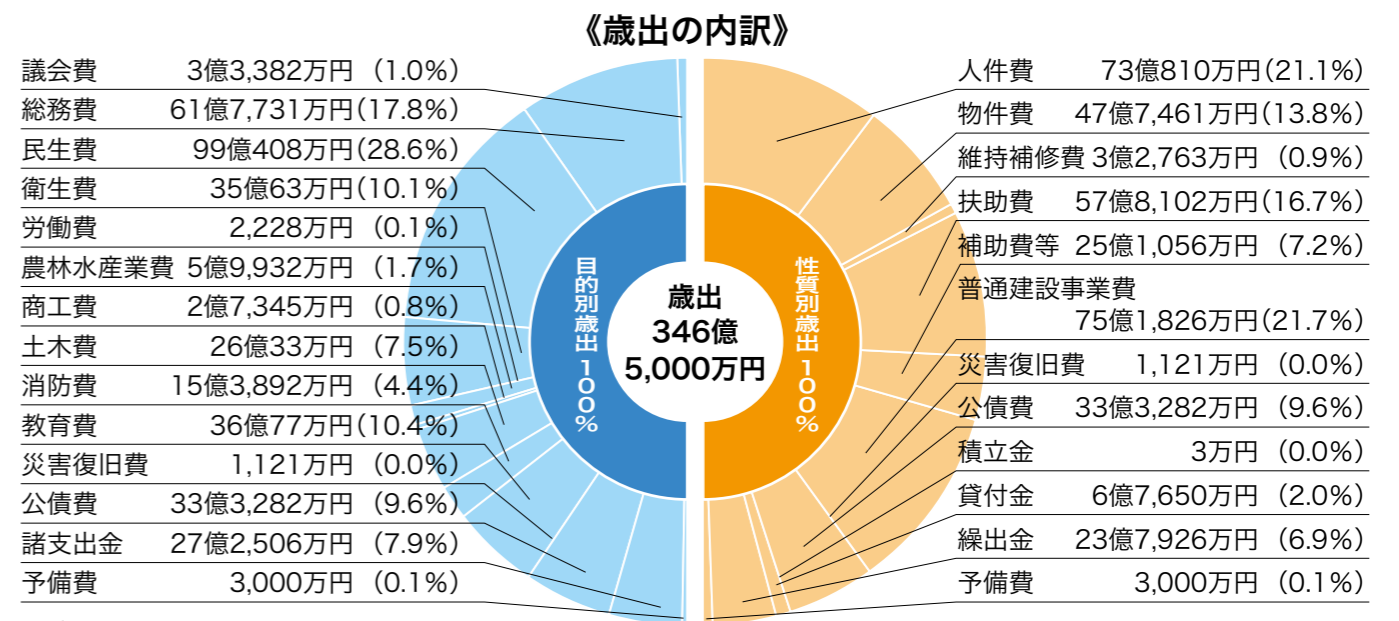


本市の平成26年度当初予算額については、一般会計が346億5千万円で、前年度に比べ6.1%の減、特別会計の合計が、前年度比0.8%減の179億2,617万8千円、水道事業会計は収益的支出で10.2%増の15億5,215万9千円となっております。

新年度予算は、第5次阿南市総合計画「しあわせ阿南2020」の基本理念に沿って、当面する課題である南海トラフ巨大地震に備え、教育施設の耐震改修・改築など防災・消防体制の整備、安心して子育てができる環境づくり、高齢者福祉の充実、衛生・環境行政および保健・地域医

療の充実、農林漁業の振興および生活関連道路、公共下水道等の整備など、特に生活環境に係るものを優先し、災害に強い安全で安心なまちづくりの推進を図り、快適・輝き・創造の未来へ着実に歩みを進めることを念頭に編成しました。

今後とも、行財政全般にわたる改革を積極的かつ計画的に進めながら、市民一人ひとりが生き生きと輝き、安全安心に暮らすことができる阿南市をめざして、市民との協働により、全力をあげて取り組んでまいりますので、ご理解とご協力をお願いいたします。



注) 金額は万円未満を端数調整しています。

特別会計の状況 (予算は3月補正含む)

執行概況は平成26年2月28日現在のもので、平成24年度繰越明許費を含んでいます。

(単位：万円)

会計名	平成26年度 当初 A	平成25年度 当初 B	比較 (A-B)	平成25年度 現計予算 (3月補正含む)	収入済額	支出済額
住宅新築資金等貸付事業特別会計	2,929	3,477	△548	3,477	753	1,789
加茂谷財産区運営事業特別会計	36	36	0	36	36	0
伊島財産区運営事業特別会計	163	162	1	162	161	1
国民健康保険事業特別会計	81億1,000	81億7,800	△6,800	88億3,500	59億5,946	70億4,688
加茂谷診療所事業特別会計	9,500	9,100	400	9,471	6,594	6,505
伊島診療所事業特別会計	1,800	1,700	100	1,700	722	1,159
公共下水道事業特別会計	5億7,440	9億4,840	△3億7,400	13億3,989	2億5,279	3億8,966
介護保険事業特別会計	74億8,000	73億3,000	1億5,000	76億6,056	66億5,112	61億7,172
伊島地区生活排水処理事業特別会計	720	711	9	711	625	129
学校給食事業特別会計	4億1,300	4億1,500	△200	4億1,500	3億726	2億8,417
奨学資金貸付事業特別会計	1,958	1,357	601	1,357	1,196	918
春日野地域下水道事業特別会計	4,152	3,250	902	3,250	1,797	1,499
羽ノ浦農業集落排水事業特別会計	1億2,930	1億2,110	820	1億2,590	3,167	6,895
豊香野地区生活排水処理事業特別会計	470	450	20	450	230	223
後期高齢者医療特別会計	10億220	8億7,200	1億3,020	8億7,200	7億6,985	6億4,042

水道事業会計の状況 (予算は3月補正含む)

執行概況は平成26年2月28日現在 (単位：万円)

区分	平成26年度 当初 A	平成25年度 当初 B	比較 (A-B)	平成25年度 現計予算	収入済額	支出済額
収益的	収入	15億6,154	14億1,262	1億4,892	14億2,352	11億4,777
	支出	15億5,216	14億862	1億4,354	13億9,676	8億6,720
資本的	収入	1億5,385	3億2,554	△1億7,169	3億2,554	0
	支出	7億5,455	8億8,463	△1億3,008	8億8,426	2億9,884

市債現在高の状況

(単位：万円・%)

区分	平成25年度末現在高見込み		平成26年度末現在高見込み	
	見込額	構成比	見込額	構成比
(1) 普通債	244億7,391	71.6	252億1,216	73.5
1 総務	16億8,102	4.9	20億1,538	5.9
2 民生	9億5,940	2.8	9億2,081	2.7
3 衛生	44億3,765	13.0	43億9,705	12.8
4 農林水産	10億7,777	3.1	9億1,548	2.6
5 商工	6,306	0.2	3,016	0.1
6 土木	73億7,443	21.6	74億6,871	21.8
7 公営住宅	14億2,507	4.2	14億3,911	4.2
8 消防	18億9,965	5.5	21億1,475	6.2
9 教育	55億5,586	16.3	59億1,071	17.2
(2) 災害復旧債	8,807	0.2	8,060	0.2
1 単独災害	85	0.0	28	0.0
2 補助災害	8,722	0.2	8,032	0.2
(3) その他	96億2,420	28.2	90億1,977	26.3
1 減収補てん債	6億8,750	2.0	5億6,250	1.6
2 減税補てん債	7億7,471	2.3	5億7,845	1.7
3 臨時収補てん債	1億2,108	0.3	9,171	0.3
4 一般会計出資債	4億3,231	1.3	4億1,550	1.2
5 臨時財政対策債	76億860	22.3	73億7,161	21.5
合計	341億8,618	100.0	343億1,253	100.0

市有財産の状況 (平成25年度末見込み)

区分	土地 (㎡)	建物 (㎡)
行政財産	1,881,903	389,875
普通財産	44,154	1,256

基金の状況 (平成25年度末現在高見込み)

財政調整基金	120億2,127万円
減債基金	33億9,862万円
特定目的基金	88億7,310万円
定額資金運用基金	4億9,689万円

市税負担の概況

市税総額 142億8,160万円

- 1世帯当たりの税額 475,214円
- 1人当たりの税額 186,361円

行政経費支出の概況

- 1世帯当たりの支出額 1,152,963円
- 1人当たりの支出額 452,149円

※ 2月末現在の人口 (76,634人)、世帯数 (30,053世帯) より試算

平成25年度一般会計予算の執行概況 (予算は3月補正含む)

平成26年2月28日現在 (単位：万円)

歳入			歳出		
区分	予算額	収入済額	区分	予算額	支出済額
市税	145億8,750	133億4,599	議会費	3億3,136	3億106
地方譲与税	3億3,800	2億1,558	総務費	45億8,773	27億8,147
利子割交付金	2,600	2,227	民生費	98億8,196	85億7,427
配当割交付金	3,400	1,301	衛生費	92億658	25億3,604
株式等譲渡所得割交付金	1億8,200	0	労働費	5,113	4,209
地方消費税交付金	7億	4億8,574	農林水産業費	6億5,168	3億6,985
ゴルフ場利用税交付金	3,000	2,093	商工費	3億4,201	2億6,808
自動車取得税交付金	5,400	3,505	土木費	23億8,936	10億7,126
国有提供施設等所在市町村助成交付金	86	98	消防費	23億6,557	11億2,867
地方特例交付金	3,100	3,157	教育費	55億8,371	26億7,716
地方交付税	39億9,415	35億7,653	災害復旧費	1,320	201
交通安全対策特別交付金	1,000	445	公債費	35億2,149	18億7,357
分担金及び負担金	4億7,481	3億7,522	諸支出金	32億1,490	20億4,723
使用料及び手数料	4億9,937	3億9,870	予備費	3,000	0
国庫支出金	85億9,215	50億1,161	合計	421億7,068	236億7,276
県支出金	19億5,215	2億1,574			
財産収入	5,567	5,442			
寄附金	1億1,236	1億1,279			
繰入金	19億8,134	1,030			
繰越金	7億3,049	7億3,049			
諸収入	8億3,733	1億1,621			
市債	69億4,750	50			
合計	421億7,068	247億7,808			

執行概況は、平成24年度繰越明許費を含んでいます。

■期末、勤勉手当の状況（平成25年度支給割合）

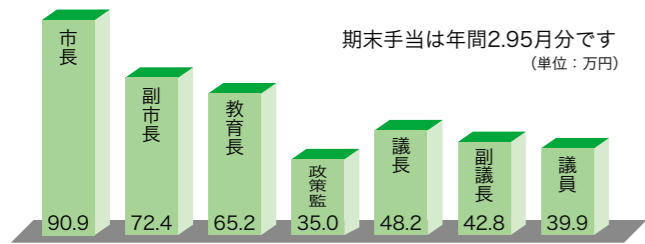
	期末手当	勤勉手当	職制上の段階、職務の級等による加算措置有
6月期	(1.025月分) 1.225月分	(0.875月分) 0.675月分	
12月期	(1.175月分) 1.375月分	(0.875月分) 0.675月分	
計	(2.2月分) 2.6月分	(1.75月分) 1.35月分	

カッコ内は特定管理職員

■退職手当の状況（支給割合）

	勤続20年	勤続25年	勤続35年	最高限度額
自己都合	23.03月分	32.83月分	46.55月分	55.86月分
勸奨・定年	28.7875月分	38.9550月分	55.86月分	55.86月分

■特別職の報酬月額等の状況



■職員の経験年数別平均給料月額の状況

区分	経験年数10年	経験年数15年	経験年数20年
一般職 大学卒	254,200円	305,900円	351,300円
一般職 高校卒	220,300円	258,200円	310,100円

■扶養手当の状況

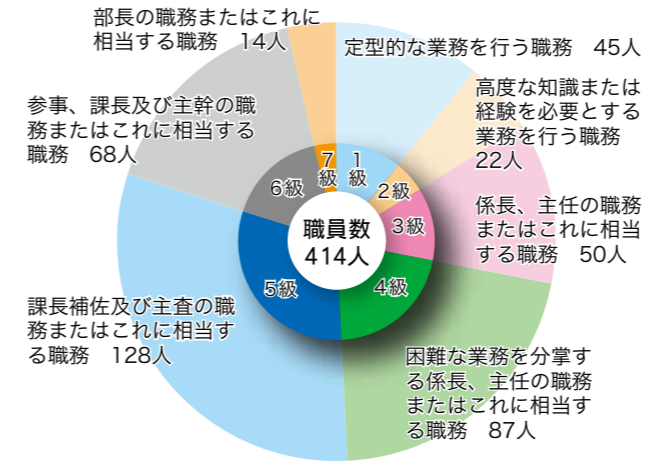
扶養親族	支給月額
配偶者	13,000円
子等配偶者以外の扶養親族	1人につき6,500円
配偶者のいない職員の扶養親族1人目	11,000円
満16歳の年度始めから22歳の年度末までの子	1人につき5,000円を加算

■住居手当の状況

区分	内容（支給月額）	国の制度との異同	
借家（間）	月額23,000円以下の家賃	家賃から12,000円を控除した額	同
	月額23,000円を超える家賃	27,000円を限度とし算定した額	同

阿南市職員の給与の現状

■一般行政職の級別職員数の状況

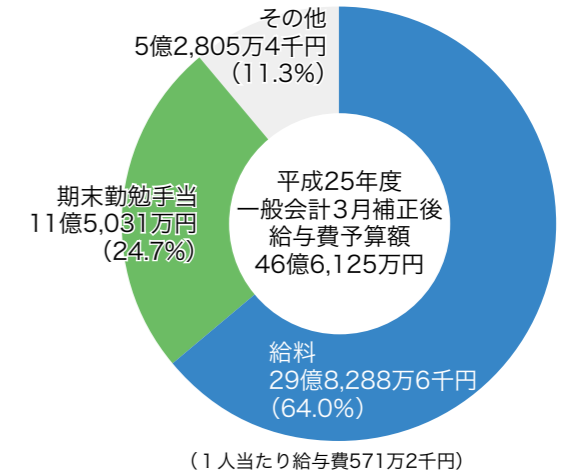


■人件費の状況

平成25年度
一般会計3月補正後予算総額 390億3,930万円



■職員給与費の状況



■職員の平均給料月額及び平均年齢の状況

区分	平均給料月額	平均年齢
一般職（普通会計）	304,157円	43.09歳

■職員の初任給の状況

区分	阿南市		国	
	決定初任給	採用2年経過日の給料額	初任給	採用2年経過日の給料額
一般職	大学卒	172,200円	184,200円	184,200円
	高校卒	140,100円	148,500円	148,500円

部門	区分	平成24年～平成28年					平成24年～平成28年計	(参考) 数値目標
		平成24年1年目	平成25年2年目	平成26年3年目	平成27年4年目	平成28年5年目		
一般行政	職員数	574	559	559			—	551
	増減		△15	0			△15	△23
教育	職員数	158	158	154			—	155
	増減		0	△4			△4	△3
消防	職員数	103	102	103			—	105
	増減		△1	1			0	2
公営企業等	職員数	67	65	60			—	64
	増減		△2	△5			△7	△3
計	職員数	902	884	876			—	875
	増減		△18	△8			△26	△27

(注) 1. 計画期間は、平成24年～平成28年の5年間である。
2. 増減は対前年比の職員増減数を示す。

●定員適正化計画の年次別進捗（実績）の概要

組織機構の合理化、事務事業の見直し、指定管理者制度及び民間委託等の活用、情報化による事務処理の効率化を進めることにより適正な定員管理に努めます。

●定員適正化手法の概要

阿南市行政改革推進大綱を指針として事務の合理化、効率化の推進に努め、財政の健全化と市民サービスの向上との均衡を保ちつつ、定員の適正化を図ります。

●定員適正化目標

部門	職員数	職員数		対前年増減数	主な増減理由
		平成24年	平成25年		
一般行政部門	議 会	6	6	0	業務の増加に伴う増
	総 務	118	122	4	
	税 務	36	36	0	
	業務の増加に伴う増	民 生	210	205	△5
		衛 生	84	84	0
		農 林 水 産	30	30	0
		商 工 土 木	13	13	0
小 計	559	559	0		
特別行政部門	教 育	158	154	△4	退職不補充による減
	消 防	102	103	1	
	小 計	260	257	△3	欠員補充
普 通 会 計	819	816	△3		
公営企業会計等部門	病 院	2	1	△1	退職不補充による減
	水 道	24	22	△2	
	下 水 道	12	12	0	徴収事務の民間委託
	そ の 他	27	25	△2	
	小 計	65	60	△5	
合 計	884	876	△8		

(注) 職員数は一般職に属する職員数であり、地方公務員の身分を保有する退職者・派遣職員などを含み、補助員及び嘱託職員を除く。

定員管理の状況

●部門別職員数の状況と主な増減理由（各年4月1日現在）